

本校の竹炭づくりが 中日新聞に掲載されました!

本校生活情報科家庭クラブの活動が、6月29日（木）に
中日新聞の三河版に掲載されました。

伐採の竹炭の消臭剤に 永渕さん工房で松平高生作る



窯の中から竹炭を取り出す生徒たち＝豊田市九久平町で

放置された竹林の竹を原料に、豊田市鶴ヶ瀬町の松平高校生活情報科一～三年の有志十二人が二十八日、学校近くの工房で竹炭作りを体験した。

生徒たちは、趣味で工房を構える永渕勝喜さん（左）の手ほどきを受けて作業。あらかじめ永渕さんが伐採して蒸し焼きした竹を、窯から取り出し、長さ三十一～五十センチに切り分け竹炭に仕上げた。

出来上がった竹炭は二百ポンドのドラム缶四つ

がいっぱいになる量。学校に持ち帰って包装し、消臭剤として文化祭や地域の催しで売り出す。

竹林の有効利用を図るため、十年以上前から続く恒例行事。三年連続で参加した三年乙だけど、その分買ってもらえるとうれしい。地域の人と交流もあってやりがいがある」と話した。（森本尚平）